

23 在宅か施設か、どちらで介護する／介護を受けるべき？

Q

自宅での介護は自分の身体的な負担や生活・仕事との関係で不可能だと思うけれど、施設での介護も経済的に無理。そんな場合どうしたらいいのかが心配です。

[60代]



A

多くの方が悩まれますが、二者択一で考える必要はありません。「ご家族による在宅介護」と「終身の施設介護」の間には多様な形があります。状況とともに形を変えながら、負担のバランスを取っていきましょう。



在宅介護でもサービス活用で 家族負担減

在宅介護であっても家族負担の程度には濃淡があります。特に要介護度が軽度の場合、ご本人ができることと介護サービスでできることを組み合わせれば、ご家族の負担を大きく減らすこともできます。介護を受ける方の意思を尊重しつつ、地域包括支援センター(→3)やケアマネジャー(→13)と相談しながら検討してみてください。

在宅復帰のための 施設利用という考え方も

施設介護といっても施設利用の程度には濃淡があります。最期まで施設でくらす以外にも、在宅を中心に施設を利用する、施設入所と在宅復帰を行き来する、在宅と施設と病院を行き来するなどの選択肢があります。これらを知っておくと、状況の変化に応じた検討がしやすくなるでしょう。

どこでどのような介護を受けたいかが大切

介護保険制度等をうまく活用すれば、在宅介護にかかると思われる時間・負担も、施設介護にかかると思われるお金も、ある程度までは抑えられます。その上で、介護を受ける方がどこで介護を受けたいのか、だれからどのような介護を受けたいのかを大切にし、そのために必要なことを都度検討しましょう。